

一級自動車工学科			2022年度 授業計画		
時 期	3 年前期	単元	講義	教科名	エンジンA1
科 目	自動車工学	教科書等 持参品	エンジン電子制御装置テキスト		発行日
			学習ノート		2022年3月31日
※ ※ ₁ 総時限	15時限		筆記用具		教科担
※ ※ ₁ 授業時間	24.0時間		当		森田秀一
一般科目と休講等予期せぬ事態に備えた余剰分を含め、合計時間は3857.6時間（50分ベース）を確保（法定合計時間3670時間（50分ベース））					
1. 指導教員の実務経験 該当 非該当					
自動車整備士として電子制御装置に係わる整備の実務経験を基にエンジン電子制御について担当する					
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入） エンジン電子制御装置 第二章高度整備技術（電源回路、センサ）について内容を理解する					
3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来ようになるのか） 1. エンジン電子制御装置の電源回路、センサの基本的な構造を説明できる 2. 電源回路、センサ回路の正常、異常の判定を説明できる 3. 電源回路、センサの異常検知の仕組みを理解し、説明できる 4. 電源回路、センサ回路の点検結果から回路の異常個所と異常内容を理解する					
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目） ・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。○×、選択肢、虫食い問題により100点満点で評価する。 ・合格点70点以上 80点以上：優 70点以上：良 70点未満：不可 ・不合格の場合、再試験を受験し、70点以上で合格とみなす。再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。 ・再試験不合格の場合、学校長の権限により再評価を実施し、合格とみなす場合がある					
5. 準備学習 ・復習 二級ガソリン自動車 教科書P105～135					
※注1 総時限の1時限は、80分/1時限を表し、授業時間の1時間は、50分/1時間を表す ※注2 ●⇒実務経験がある教員 ■⇒日産資格保持者					
6. 指導目標 1. エンジン電子制御装置の電源回路、センサ、アクチュエータの分類ができ、基本的な構造を理解させる 2. 電源回路、センサ回路の正常、異常の判定を理解させる 3. 電源回路、センサの異常検知の仕組みを理解させる 4. 電源回路、センサ回路の点検結果から回路の異常個所と異常内容を理解させる					

2022年度 授業計画

[illegible]

一級自動車工学科			2022年度 授業計画		
時 期	3年前期	単元	講義	教科名	エンジンA2
科 目	自動車工学	教科書等 持参品	エンジン電子制御装置テキスト		発行日
			学習ノート		2022年3月31日
※ ※ ₁ 総時限	21時限		筆記用具		教科担
※ ※ ₁ 授業時間	33.6時間		当		森田秀一
一般科目と休講等予期せぬ事態に備えた余剰分を含め、合計時間は3857.6時間（50分ベース）を確保（法定合計時間3670時間（50分ベース））					
1. 指導教員の実務経験 該当 非該当					
自動車整備士として電子制御装置に係わる整備の実務経験を基にエンジン電子制御について担当する					
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入） エンジン電子制御装置 第二章高度整備技術（アクチュエータ）について内容を理解する					
3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来ようになるのか） 1. エンジン電子制御装置のアクチュエータの基本的な構造を説明できる 2. アクチュエータ回路の正常、異常の判定を説明できる 3. アクチュエータの異常検知の仕組みを理解し、説明できる 4. アクチュエータ回路の点検結果から回路の異常個所と異常内容を理解する					
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目） ・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。○×、選択肢、虫食い問題により100点満点で評価する。 ・合格点70点以上 80点以上：優 70点以上：良 70点未満：不可 ・不合格の場合、再試験を受験し、70点以上で合格とみなす。再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。 ・再試験不合格の場合、学校長の権限により再評価を実施し、合格とみなす場合がある					
5. 準備学習 ・復習 二級ガソリン自動車 教科書P105～135					
※注1 総時限の1時限は、80分/1時限を表し、授業時間の1時間は、50分/1時間を表す ※注2 ●⇒実務経験がある教員 ■⇒日産資格保持者					
6. 指導目標 1. エンジン電子制御装置の電源回路、センサ、アクチュエータの分類ができ、基本的な構造を理解させる 2. アクチュエータ回路の正常、異常の判定を理解させる 3. アクチュエータの異常検知の仕組みを理解させる 4. アクチュエータ回路の点検結果から回路の異常個所と異常内容を理解させる					

2022年度 授業計画

[illegible]